

小学校 第5学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「西海町の特産物について知ろう」

2 題材設定の理由

西海町は、生産量日本一を誇るゆで干し大根の生産地である。西海町特産のゆで干し大根について知ることで郷土の産物への興味・関心を深め、ゆで干し大根を食べようとする態度を養うことは、意義あることである。そこで、学校給食で食べたゆで干し大根を教材として、ゆで干し大根の生産について学習し、郷土の産物であるゆで干し大根を食べようとする意欲をもたせるために本題材を、設定した。

3 本時の目標

ゆで干し大根への興味・関心を深め、感謝をして残さず食べようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

西海町内における地産地消について知る。（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「食料生産をささえる人々」
道徳 「感謝の心」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資料
食前	○今日の給食にも、西海町でとれたものがたくさん入っていることを知る。	○本日の材料の中で、西海町でとれたものはどれかを考えながら食べるよう促す。	
食事中	○放送を聞きながら、どの野菜を誰が育てたのか、生産者の方の名前を知る。	○放送を静かに聞かせ、どの野菜を誰が育てたのか、生産者の方の名前がわかるように紹介する。	校内放送
食後	西海町の特産物について知ろう		
	○西海町でとれたものの中で、生産量日本一の食べ物は何か考える。	○西海町でとれたもので、生産量日本一の食べ物は何かをクイズで考えさせる。 ①切り干し大根 ②ゆで干し大根 ③大根 正解 ②ゆで干し大根	生産量日本一クイズ
	○西海町でゆで干し大根を作っている生産者のことを知る。	○西海町でゆで干し大根を作っている生産者のことを知らせる。 ・大栄大蔵大根の皮を1本ずつ手でむく様子。 ・機械で切り、釜で茹でる様子。 ・干し場に運んで、干す様子。	ゆで干し大根を作っている様子の写真 生産者の方の写真
	○ゆで干し大根作りの苦勞を知り、これからも感謝して食べようとする意欲をもつ。	○ゆで干し大根作りの苦勞を知らせ、感謝して食べようとする意欲をもたせる。 ・雨が降らず、風が強い日を選んで作らないと、一晩で乾かないので、天候をよむのに苦勞している。 ・干し場は、潮風が冷たく、うすく広く大根を広げて干すのは大変だが「おいしい」と食べてもらえるとうれしい。	

7 指導のつながり

- ・校内放送で、ゆで干し大根について紹介する。
- ・食育だよりで、保護者にもゆで干し大根について紹介する。
- ・給食集会で、ゆで干し大根を含めた地産地消の講話を実施する。
- ・献立委員会で、保護者の代表の方に、ゆで干し大根を月に1～2回使用していることを説明する。